

第13回全国中学校（教科）柔道指導者研修会開催要項
《国庫補助事業》

- 1 趣 旨 中学校保健体育武道（柔道）授業の充実にに向けた研修会を実施し、柔道を専門としない中学校保健体育科教員の指導力向上に資する。
- 2 名 称 第13回全国中学校（教科）柔道指導者研修会
- 3 主 催 公益財団法人日本武道館、公益財団法人全日本柔道連盟
- 4 後 援 スポーツ庁、勝浦市教育委員会（予定）
- 5 期 間 令和4年10月14日（金）～16日（日）
- 6 会 場 日本武道館研修センター（千葉県勝浦市沢倉582）
- 7 募集人数 47名（原則として各都道府県1名）
- 8 参加資格 柔道を専門としないが柔道指導実践に意欲的な保健体育科教員、または学校保健体育を担当する行政職員とする。
ただし、各都道府県において上記資格に該当する教員がない場合は、以下の項目に該当する者の参加を認める。
（1）本研修の全課程を受講し、その内容を伝達講習できる中学校柔道の指導的立場にある者。
（2）保健体育科以外の教科教員で、保健体育科柔道授業に関わっている者。
（3）上記以外に主催者が特に参加を認めた者。
- 9 申込方法 （1）都道府県柔道連盟（協会）を通して、全日本柔道連盟振興課普及係宛に、1名の参加申込書を提出すること。
（2）提出期限：9月9日（金）必着
- 10 参加者補助 （1）参加費：無料とする。
（2）資料代（テキストなど）は主催者が負担する。
（3）日本武道館が定める旅費計算基準（内規）に基づく往復交通費及び宿泊費（食事付）を各都道府県1名まで補助する。ただし、所属団体などより往復交通費の補助を受けている参加者には補助しない（申込書に必ず記入のこと）。
- 11 所持品 マスク（品質の確かな、できれば不織布）、室内履き（スリッパ）、体温計、柔道衣（白色）、トレーニングウェア、洗面具、筆記具、健康保険証など
※未経験者（初心者）は、トレーニングウェアでの参加を認める。
- 12 研修計画 別紙「実施内容・日程表」により実施し、全課程を修了した者には主催者より修了証を授与する。
- 13 その他 参加者には、日本武道協議会設立40周年記念『中学校武道必修化指導書（DVD3巻付）』（武道編・柔道編）を無償配布する。
- 【問い合わせ先】 ◎研修内容・日程、申込書提出などについて
公益財団法人全日本柔道連盟 振興課普及係
〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館本館5F
TEL 03-3818-4430 FAX 03-3812-3995（土・日・祝日を除く）
E-mail：shidou@judo.or.jp
◎旅費、会場及び宿舎などについて
公益財団法人日本武道館 振興部振興課
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5134 FAX 03-3216-5117（土・日・祝日を除く）

以上

第13回全国中学校（教科）柔道指導者研修会 日程表

10月14日（金）		10月15日（土）		10月16日（日）	
		6:00		6:00	
			起床		起床
		7:00		7:00	
			朝食	7:30	朝食
		8:00		8:00	
			準備		準備
		9:00		8:30	講習10 「評価の実際」 田中 裕之
		9:30	休憩		講習11 「柔道授業の魅力を考える」 木村 昌彦
		9:40	講習4 「受け身 基礎・応用」 (前瀧 大吾)		
		10:30	休憩		総括 高橋 進
		10:40	講習5 「投げ技 膝車」 (山根 友樹)	10:45	閉講式
		11:40		11:00	解散
			昼食・休憩		
13:00		13:00			
	受付（13：00～13：50）		講習6 「投げ技 体落とし」 (濱岡 睦月)		
13:50	記念撮影		講習7 「投げ技 大腰」 (水沢 忍)		
14:00	開講式		講習8 「固め技 基礎・応用」 (高品 亮輔)		
14:20	オリエンテーション				
14:30	講習1 「講道館柔道・礼法」 向井 幹博	16:30	休憩		
15:20	休憩	16:50			
15:30	講習2 「基本的な指導」 高橋 健司		意見交換会		
17:00	休憩				
17:10	講習3 「教育に生かす武道の心」 田中 裕之	18:00			
18:00			入浴・夕食		
	入浴・夕食				
20:00		20:00			

※都合により、内容を変更する場合がございます。

「第13回全国中学校（教科）柔道指導者研修会」参加申込書

1. 参加申込にあたり、主催者・施設管理者の定める新型コロナウイルス感染症防止策を遵守することを約束します。
2. 該当するカテゴリーに☑をつけてください。
 - カテゴリーA……中学校教科柔道の指導的立場にある者
 - カテゴリーB……柔道を専門としないが柔道指導実践に意欲的な保健体育科教員
 - カテゴリーC……学校保健体育を担当する教育委員会関係者
 - カテゴリーD……その他

(フリガナ) 氏名					
生年月日	(西暦)	年	月	日生	(歳)
全柔連登録 メンバーID					
勤務先					
所属部署・役職					
勤務先住所	〒				
	TEL		FAX		
学校授業における柔道指導の経緯					
柔道指導歴 授業 年 部活 年	柔道の段・級位 段・級		本来、専門とする体育科目名		
自宅住所	〒				
	TEL		FAX		
	携帯電話				
E-MAILアドレス	@				
書類送付先	自宅・勤務先		所属先からの交通費補助		あり(往復・片道)・なし
所属長宛 派遣依頼文書の送付	必要・不要		依頼先役職： 氏名：		
研修会に参加する理由を簡潔に記載してください。※回答必須					

＊令和4年9月9日（金）までにご提出ください。

◎本書面にて取得した個人情報、本事業及び公益財団法人日本武道館主催武道行事に関する以外には利用いたしません。また、本書面を提出いただいたことにより、本事業関係者（団体）への提供の目的に利用されることをご本人が同意したものと、取り扱わせていただきます。

第13回全国中学校（教科）柔道指導者研修会 新型コロナウイルス感染症対策について

公益財団法人日本武道館では、新型コロナウイルス感染症対策として、以下の通り対応いたします。

1 研修会等当日

- (1) 講師・参加者・運営事務局は、マスクの着用を徹底する。
- (2) 会場にアルコール等の手指消毒剤等を準備する。
- (3) 人と人との間隔を最低1m（できるだけ2m）を空け、講義・実技を実施する。
- (4) 研修会等の実施期間中は、大きな声で会話をしないようにする。

2 以下の項目に該当する講師・参加者・運営事務局は、参加を見合わせる。

- (1) 体調がすぐれない（せき、のどの痛み、平熱を超える発熱など）。
- (2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。
- (3) 研修会等の初日から過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある。

3 平熱の確認・連絡

- (1) 各自、平熱を確認しておくこと。特に平熱が高い（37℃以上）、低い（35.5℃以下）などの場合には、申込書に記入の上、あらかじめ運営事務局に連絡をすること。

※体温には個人差があり、年齢や測定の状態（運動、時間、気温、食事、睡眠、女性の性周期、感情など）によって変動するため、1日の4つの時間帯（起床時、午前、午後、夜）ごとの平熱を確認しておくこと。また、検温は、体調の良いときに1日だけでなく、日をあけて何日間か、食前や食間（食後すぐを避ける）に行うと良い。

4 研修会終了後

- (1) 講師・参加者・運営事務局の中で、研修会終了後、7日以内に新型コロナウイルスを発症した場合は、主催者に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

5 その他

- (1) 感染防止のために主催者、施設管理者が決めたその他の措置の遵守、施設管理者の指示に従うこと。
- (2) 公益財団法人全日本柔道連盟が定める感染防止対策を遵守すること。

以上

※後日、講師・参加者各位には、新型コロナウイルス感染症対策遵守事項他、関係書類をご送付いたします。